

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回 本荘地域協議会
開 催 日 時	平成22年2月2日(火) 午後1時30分～3時50分
開 催 場 所	本荘由利広域行政センター「学習ホール」(3階)
出 席 者 氏 名	「出席者名簿(網掛け)」のとおり
欠 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
<p style="text-align: center;">会 議 次 第</p> <p style="text-align: center;">1. 開 会</p> <p style="text-align: center;">2. 会長挨拶</p> <p style="text-align: center;">3. 議 事</p> <p style="text-align: center;">(1)「地域づくり推進事業」アンケート調査結果について</p> <p style="text-align: center;">(2) 検討委員会での選定・配分の方針について</p> <p style="text-align: center;">(3)「地域づくり推進事業」配分額(案)について</p> <p style="text-align: center;">(4) 平成21年度主要事業の進捗状況について</p> <p style="text-align: center;">由利橋架替事業及び主要道路事業について(建設管理課)</p> <p style="text-align: center;">区画整理事業について(区画整理課)</p> <p style="text-align: center;">文化複合施設建設事業について(都市計画課)</p> <p style="text-align: center;">(5) その他</p> <p style="text-align: center;">4. 閉 会</p>	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

本 荘 地 域 協 議 会 委 員 名 簿

出席者: 綱掛け	
役職	氏 名
会 長	村 岡 兼 幸
副会長	本 間 達 雄
副会長	東海林 京 子
委 員	山 岸 鐵 二
委 員	渡 辺 義 弘
委 員	関 口 隆 史
委 員	齋 藤 久 一
委 員	今 野 勘一郎
委 員	斉 藤 良 明
委 員	小 松 賞
委 員	今 野 忠 志
委 員	初 瀬 東 一
委 員	佐々木 豊
委 員	磯 貝 道 子
委 員	遠 藤 誠 助

役職	氏 名
委 員	吉 田 朋 子
委 員	小 林 祥 子
委 員	横 田 剛
委 員	中 村 スメ子
委 員	榎 本 義 孝
委 員	小 川 征 雄
委 員	今 野 忠 男
委 員	岡 田 邦 雄
委 員	佐 藤 はつ子
委 員	大 嶋 順 子
委 員	吉 川 充 子
委 員	菅 原 真 理
委 員	高 橋 徳 之
委 員	小 松 萬 毅

平成 2 1 年度 第 4 回本荘地域協議会 行政出席者名簿

由利本荘市 (3 名)

	職 名	氏 名	摘 要
1	理 事	猿 田 正 好	
2	企画調整部 部 長	小 松 慶 悦	
3	企画調整部 次 長	鈴 木 良 信	

平成 2 1 年度主要事業説明者 (3 名)

	職 名	氏 名	摘 要
1	建設部建設管理課 主席参事	泉 谷 健 一	
2	建設部都市計画課 主席参事兼課長補佐	佐 々 木 肇	
3	建設部区画整理課 課長補佐	佐 藤 英 樹	

事 務 局 (3 名)

	職 名	氏 名	摘 要
1	企画調整部企画調整課 課 長	大 庭 司	
2	企画調整部企画調整課 参事兼地域づくり推進室長	袴 田 範 之	
3	企画調整部企画調整課 地域づくり推進室主査	高 橋 和 幸	

会議の経過

第 4 回 本荘地域協議会

平成 22 年 2 月 2 日 (火)

午後 1 時 30 分 開会

3 時 50 分 閉会

1. 開 会 (進行：袴田参事)

2. 会長挨拶

村岡会長

皆様こんにちは、平成 21 年度第 4 回の地域協議会にあたりまして、2 月 2 日という月初めで大変お忙しい中、委員の皆様に参加をいただきまして大変ありがとうございました。どうしても年度のスケジュールの関係上、年末そしてこの 1 月、2 月、3 月にかけて会議が重なりますので、大変お忙しい中恐縮ですが、大事な部分でありますのでよろしくお願いしたいと思います。そして大きな今年度の事業であります、地域づくり推進事業の検討委員会も開きましての今日の会議ですので、出席されていない方からも、是非忌憚のない意見をいただいて、第一回目の地域づくり推進事業についての地域協議会としたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

3. 議事

(1)「地域づくり推進事業」アンケート結果の説明(28 件)(資料 1)(高橋主査)

(2)検討委員会での検討内容・選定・配分の方針の説明(資料 2)(村岡会長説明)

(3)配分額(案)の説明(資料 3)(大庭課長)

議長

ただ今、(1)～(3)まで地域づくり推進事業の選定の仕方について、説明をさせていただきましたけれども、検討委員の 8 名の中でもしご意見があればよろしくお願いします。

A 委員

子吉川市民会議の市街地の案内関係の場合、15 万円で足りるのかなと、もうちょっと市内のこういうものを大きくアピール宣伝してもらう為には、もうちょっとガイドマップとか、案内の看板とか、そういうものにはもうちょっと金をかけなければいけないのではないかと思います。

B 委員

検討委員会に出席しまして、今大庭課長さんの説明で十分です。意見がきちんとあげられているものと思っております。

議長

ご意見ご質問等をお願いします。

C 委員

とりあえずこの内容見させていただいて、是非この中身で頑張っていたきたいと思います。

D 委員

10ブロックで300万円を案分するというような感じの話でしたので、控えめに事業計画をたてさせていただきましたが、満額認めていただいておりますのでありがとうございました。

E 委員

小友地区の事業に対しまして30万という予算をまわしてもらいまして、61万という額には、約30本の予定でしたが、予算の範囲以内で本数をそれにあったような本数で事業をやりたいと思います。継続して、できれば来年とか再来年というような感じで継続的に植えていきたいなと思っております。

議長

逆にこう街部の申請については、少し課題も残ったというか難しい部分もあったと思うんですけど、街部の中でご意見をいただければと思います。

F 委員

本当にこれといった意見をもって来なかったんですけど、25番(日本海・道の駅フェスティバル)、26番(おばこ号フェア)の事業については精査していただいて、今後につなげていただければありがたいと思います

G 委員

検討委員会の方々の十分ご検討なさった結果、それが尊重されてこのような予算配分になったと思います。私として特に意見はございません。

H 委員

各地区から出た事業についての予算の配分にはご苦労されたことと思われます。私がこう見たところで子吉川の関係で、子吉川の花いっぱい運動があるわけですが、朝5時頃に草とりや花に水かけをやっているわけです。そういうところは苦労しているなと思っているわけです。そういうところを見れば、そこにもう少し予算を置いてもらって、楽しんでもらえればありがたいのかなと思います。あそこではランドゴルフもやっているようで、ほとんど毎日のようにやられております。そういうところを見れば、範囲をもう少し広げてもらえればありがたいです。日中に子供さんたちも日曜日はもちろんおりますし、特に老人の方々が朝早くから、だいたい8時ころには散歩して歩くんですよ、そういうように花を見ながら歩いているというのは健康のためにもなると思いますので、もう少しあそこに手間をかけてもらえれば、ありがたいなと思っております。

議長

子吉川のどの辺でしょうか。アクアパル辺りの河川敷のことですか。

H 委員

はい、そうです。

I 委員

すごく男性も女性も地区の皆さんも元気になるところにお金が使われるようでよかったと思います。特に私はハムフライについて関心持っていたんですけど、「どんぐりさん」とか「おばこさん」とかというところでもハムフライを出しているようですけれども、そういう所で食べるよりも、またテントを張った所で食べるようなイベントで、沢山人が集まるというのもいいと思います。飲み屋さんでも食べたいなって人もいると思います。「蔵の市」でも出したんですよ。だんだん知名度が高くなっていくところにお金が配分されているところに非常に喜んでいる所であります。

議長

他にありませんか。特にないようであれば、G 委員からの意見が代表的な意見で、検討委員会で検討を重ねて、その上で市側とも十分検討の上で上がってきたのでこれでいいのではないかと、というご意見がありましたが、特に問題なければ協議会の中でこの案件でご承認いただくということによろしいでしょうか。

全委員

よろしいです。

議長

はい、ありがとうございます。それでは今年度の地域づくり推進事業については、今日提案した案件で地域協議会の中でも承認いただいたということで進めさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

(4)「平成 21 年度主要事業の進捗状況について」

議長

それでは説明をお願いいたします。

主要事業説明者（建設管理課 泉谷主席参事）

() 由利橋架替事業および道路主要事業について、配布資料に基づき説明。

B 委員

2 番の松ヶ崎亀田線の道路横断するところですが、今の工事状況からその辺を通る人たちが言っているのですが、前のように、亀田から行きまして松ヶ崎、そして国道 7 号線に通る道路なんですけれども、踏切を渡ってから南側の方と、それから北側に今までの舗装の状況と同じようになるのかどうか、利用される方が心配しております。そういう心配の声がありましたのでお願いいたします。

主要事業説明者（建設管理課 泉谷主席参事）

ただ今のご質問にお答えいたします。今回の事業では本線の改良を行いますけれども、既存の道路で本線に接続する道路につきましては、すべて人の横断が使えるように、改良して通れるように致しますのでよろしくお願いしたいと思います。

議長

由利橋の供用開始は 24 年 12 月後半というふうな話がありましたけれど、丸 3 年近くかかるという事ですね。

主要事業説明者（建設管理課 泉谷主席参事）

今のところタイムスケジュールで、それが精一杯という形になっております。

議長

たぶん市民感情とすると、ずいぶん遅いなど。旧橋の撤去にもずいぶん時間かかってるなというふうに思うので、もう3年もかかるんだなと改めて思いました。由利橋のゆったりとした歩道というのはすごくいいと思うのですが、これは片側ですか、両側ですか。

主要事業説明者（建設管理課 泉谷主席参事）

先ほどの工期的なものから若干説明いたします。この子吉川というのは国の国土交通省直轄河川という扱いになっておりまして、川の中に入って工事ができるのが、10月～3月までしか出来ないという、1年間の内でそういう制約があります。1番仕事ははかどる夏場に川の中に入って仕事が出来ないという、こういう制約がありまして、全体の鉄橋関係の工事が非常に時間を有しているということでご理解いただきたいと思います。

それから歩道ですけども、両側3.5メートルです。3.5メートルというのはケーブルの取付の張り出した部分の所で3.5メートルになります。ケーブルが張らない部分につきましては4.5メートルという広さになりまして、構造形式でいきますと、全幅で（外側から外側まで）19メートルということになります。これは区画整理のほうで進めております道路の規格とほぼ同じということです。

議長

それでは、次の説明をお願いいたします。

主要事業説明者（区画整理課 佐藤課長補佐）

（ ）区画整理事業について、配布資料に基づき説明。

G委員

区画整理事業設計図ですか、これによりますと、中横町の半分と桶屋町、鍛冶町あたりが黄色くぬってありますから、22年度中に工事が完了するという予定だと思いますけれども、電柱の配線の件ですが、配線が地下に潜るという事を聞いております。ところで由利橋が24年度いっぱいかかって完成すると、完成した時点で配線工事も終わるのでないかと思いますが、それまでの間道路の舗装というのはどういうふうな状況で、このあと3年間の間はどのような状態になっているのかお聞きしたい。

主要事業説明者（区画整理課 佐藤課長補佐）

地中下工事は、今年も来年も行っていくますけれども、東北電力さん、NTTさんの方では、由利橋が完成した時に、大門から由利橋に1回で通線をしていきたいと言われておりますので、それまでの期間は電柱に関しましては、車道の端ぎりぎりに立てさせていただくような状況になります。今の計画でいきますと、由利橋が24年度いっぱいかかるということなので、その次の年、25年度に電線管理者さんの方で地下配線をしまして、完成するような計画になっております。

G委員

その間道路の舗装はどうなっているのですか。

主要事業説明者（区画整理課 佐藤課長補佐）

道路については完成して舗装されます。

議長

1 番最初の写真の部分の黄色でわくをくくっている部分は、すべて区画整理対象なのでしょうか。

主要事業説明者（区画整理課 佐藤課長補佐）

そうです区画整理区域をそのような形で表現しています。

議長

区画整理区域という意味ですか。

主要事業説明者（区画整理課 佐藤課長補佐）

はい、そうです。

議長

では道路がかからない場所もあるということですか。

主要事業説明者（区画整理課 佐藤課長補佐）

そうです。黄色で囲まれている部分の都市計画道路ですとか、区画整理道路を整備するということで、たとえば一番下の停車場栄町線ですけども、昔の本荘郵便局、左端にありますけれども、これから今の合同庁舎前の交差点までが区画整理事業から外れておりますので、県の方でなんとか整備してもらいたいということで、外部事業で整備してもらっております。

議長

いつも質問しておりますが、区画整理事業の中に入っている一番館はどうしようかという方針がでているのでしょうか。

主要事業説明者（区画整理課 佐藤課長補佐）

一番館については現在のところどのようにするという計画はまだはっきりしていません。現在一番館は羽後信用金庫さんの持ち物になっておりまして、羽後信用金庫さん、秋田銀行さん、羽後信用金庫さんに挟まれたような形になっておりますので、その辺なにか一体的に利活用できないかなと、銀行さんにはいろいろ相談、協議しているところです。

議長

前の地域協議会の時にもこの質問させていただいて、将来的には撤去をしたいというようなことは聞いたことはあるんですけど、それがそのままずっときていて、現在区画整理が最終段階に入ってきていて、民間のものなのであくまでも地域協議会の意見ではなく個人の意見ですけども、民間のものだからそのままにしておくのではなくて、なんらかの区画整理事業の中の重要な部分なので、アクションを起こすということが必要ではないかと思うのですが、黙っていても結局せっかくの区画整理事業なのにそこだけが残されてしまって、たぶん再利用はとてできない建物だとは思いますが、もし関連でもご意見ある人いれば聞きたいぐらいですけど。もっと端的に言えば私見ですけども、例えば組合病院の跡地が組合病院の物だったけれども、それを市として、次の説明をするような施設にするために買い取って、何年とかかかっていますけども、そういう中で解決

して行ったという例がありますよね。そうしてくださいと言っているわけではなくて、そういうのも含めて検討すべき課題ではないかなと、一意見として、市民の意見として思います。

A 委員

電線の埋設の件ですけれども、先ほど舗装はやってくんだと、電柱は端に寄せていくんだということの説明がありましたけれども、確認なんですけれども、埋設する時はもう一回掘りなおしてから舗装するということになりますか。

主要事業説明者（区画整理課 佐藤課長補佐）

道路築造する際に、歩道の下にサヤ管を埋設しておきますので、通線する際にはもう一度掘削するようなことはないです。

議長

それでは、次の説明をお願いいたします。

主要事業説明者（都市計画課 佐々木主席参事兼課長補佐）

（ ）文化複合施設建設事業について、配布資料に基づき説明。

G 委員

停車場栄町線の道路についてお伺いします。駅を背中にして東のほうから西へ向かって話していきたいと思います。まず飛鳥大橋に行く交差点があります。あの交差点から、この文化複合施設の入口のあたりまで、道路が拡幅されると聞いておりますけれども、そのような計画なののでしょうか。その次に、それを進みますと、第一病院に行く道路の交差点にあたります。そこから大門角ですか区画整理で道路が拡幅されているそれまでの間、非常に道路が狭い。それは拡幅する計画といたしますか、お考えはあるのでしょうか、お伺いします。

主要事業説明者（都市計画課 佐々木主席参事兼課長補佐）

現在区画整理で完成した道路の幅員については、今後の改良の予定はないです。それともう一つ、由利中央線との交差点、これ以降区画整理区域までの、通称「本町通り」といわれているあたりの部分については、現在駅前と同じ27メートルで計画決定されていまして、計画決定としては27メートルなんですけれども、先ほど区画整理の説明にもありました通り、駅前からの道路につきましては県の道路の位置づけになっております。我々もこの市街地の中の道路の形態は当然今の「本町通り」になっている部分の整備がまのあたりするものですが、今までも県の方といろいろと検討してきてはいるんですけれども、実際に27メートルの幅員ですと、北側二車線ずつ、四車線での築造となるということで、ただ交通予測等から見ますと、当然四車線での道路は必要ない路線であるということで、我々都市計画課側、そして県のほうも27メートル4車線化での整備は不要だということでは、我々由利本荘市、市民の方々、沿線の方々と話をしてきました、その辺は共通認識しているものと考えております。ただ整備につきましては、都市計画変更を行ったうえで、今後どのような形の事業を行っていくかでありますとかいう検討が必要ですので、若干時間がかかるものというふうにお話しさせていただいているところであります。ただ今回の事業の中では今の「本町通り」につきましては、整備という形にはなりませんけれども、我々の方としましても重要な整備しなければいけない路線であるという認識は持っているところです。また、先ほど「まちづくり交付金事業」ということで、この文化複合施設の建設と伴に、区画整理区域から由利中央線までの間の現在の文化会館の前の道路、こ

ちらも我々整備しておりまして、今年度電線共同溝等の設計を発注しておりまして、来年度以降１６メートルの幅員、区画整理と同じような幅員になりますけれども、そちらで来年度以降整備していきます。幅員１６メートル、延長３５０メートル程になりますけれども、来年度整備して参ります。

G 委員

文化複合施設ができますとアクセス道路といいましょうか、かなり交通量も増えると思いますので、「本町通り」の拡幅も極力早くお願いしたい。

企画調整課 大庭課長

今佐々木主席参事が説明したのには、ポイントが２点あります。１点目は眼鏡屋さんの通りから、大門角の通りです。停車場栄町線というのが道路の名前なんですけれども、そこは県の道路でして、県の方に整備の要望をしばらく前から出しているんですけれども、何せ時代状況がこういうふうなので、なかなか手をつけられないでいるというのが現状です。もちろん市としては、同じ幅で駅前からずっと西のほうまで持って行ってもらいたいというところなんですけれども、ご案内のようにこういう街中の整備というのは非常に莫大なお金がかかりますので、なかなか行政側のほうで手がつけれないというようなことが現状であります。ですので必要性は十分認識してますので、今後も強く県のほうにお願いしていくしかないというような今の状況になります。もう１点はいわゆる美倉町通りです。今の文化会館の前なんですけれども、そこは一方通行になっております。そこは今回の複合施設と合わせて、同じ国の事業を使って、昔でいうタケダさんの前から、ずっとかおる堂までですか、ケーキ屋さんのあるところまで、中央線までが片側一車線通行ができるという形になります。併せて道路の中に電線を地中化する考え方です。だいが移転補償が終了して、移転が進んでいるような状況になります。大町銀座通線が完成いたしますと、今心配していただいている交通の便は、比較的良くなっていくだろうということを市のほうでは考えている状況です。

J 委員

２点お願いしたいと思います。１点は中央管理システムを作られると思いますけれども、事務所はどの辺になるのでしょうか。それからもう一つはライブラリー関係はこの中に設置予定はないのでしょうか。図書館の中にあるのでしょうか。

主要事業説明者（都市計画課 佐々木主席参事兼課長補佐）

この図面で言いますと、３枚目の１階の配置の図面を見ていただければと思いますけれども、一番の図書館部分、若干青い色で着色されておりまして、その南側、下になりますけれども若干ピンク色の部分、こちらのほうに椅子と机とか並んでいる部分が見られるかと思えますけれども、青い部分になるのがまず基本的には図書館事務用の事務室、そして公民館、音楽ホールとか２階の部分も含めて、その下にあるピンク色の部分にも机等の配置が見られるかと思えますけれども、こちらが事務室等となっております。図書館につきましては、南北や東西に細長い書棚を上から見たような図になるんですけれども、こちらのほうにすべて一般の方々が見られる本棚になります。そして２階部分に閉架書庫というものがありますけれども、こちらは通常しまっておきたいような書類、本等、また由利本荘市の栄光の資料等もありますので、それらをこちらのほうにしまっておくというような形になります。

J 委員

ライブラリーの１６ミリメートルの細いフィルム等の保管はどこで行うのですか。

主要事業説明者（都市計画課 佐々木主席参事兼課長補佐）
図書館の中で行います。

遠藤委員

この施設が完成して大きなイベントをやる場合、駐車場が足りないという話があるのですが、臨時駐車場も入れて全部で何台分ぐらい収容できますか。

主要事業説明者（都市計画課 佐々木主席参事兼課長補佐）

この施設には１６１台になります。我々のほうとしましては、この市役所の駐車場とそれから尾崎小学校の裏のほうの駐車場を含みまして、それを活用していただきたいと思います。約５４０台ほどの駐車スペースを持っているところです。

K委員

施設の中で利用できる場所は１６１台しかないんですか。

主要事業説明者（都市計画課 佐々木主席参事兼課長補佐）

このすべての建物の平面の中でお知らせしてきたこの駐車場、イベント広場等を含みまして１６１台です。

K委員

それで足りるんですか。

主要事業説明者（都市計画課 佐々木主席参事兼課長補佐）

我々の方もこれで十分というような考え方はしておりませんし、付近の民間の駐車場等とも合わせてご利用いただきたいと思います。また我々の方の若干理由づけとしましては、もうこの施設だけに来て入っていただくようなものではなく、また付近の駐車場を利用させていただきながら、駅前等の商店等も歩いていただいて利用させていただきたいという思いはあります。大変辛い言い訳ではあるんですけども十分な駐車場が利用できればいいんですけれども、当然付近には民間駐車場経営されている方もいらっしゃいますし、できるだけこの街中を歩いていただきたいというような思いもありまして、こういう大変苦しい言い訳になってしまいますけれども、こういう状況になっております。

企画調整課 大庭課長

私の方から補足させてもらいます。考え方としまして歴史的な話になってしまいますが、こういうものを一回郊外に出して、郊外で大きな駐車場を確保しながら、いわゆる、ドア ツー ドアといいますか、遠くからドアまでというのが一昔前の考え方だと思います。今その反省点に立ったのが街の作り方ということで、歩いて何でもといいますか、歩いて買い物ができて、歩いて図書館に行って、歩いてほしいものが手に入るというふうな、そういう考え方をして都市を作っていくのが、高齢化とかそういうような時代がこれから来るので、そういうふうな変え方をしないといけないというような反省のことで、コンパクトな作りの街というのが今最近はやっている考え方だと思います。その中で中心部にある１．２ヘクタールをどういうふうに使いますか、というような発想になった場合、やはりこういうふうな作り方をすべきでないかということが、何回か協議会の方々の

議論の中で結果として出てきたもので、確かに駐車場の数はこれは先ほど言いましたように、一つ前の考え方をすればそれは少ないかもしれませんが、けれども、その駐車場は年何回使いますかとか、この駐車場はどれくらいの頻度で使われるんですか、とかいうようなことを考えた時にはやはりこれからの街づくりという上では、駐車場にだけに考えるのではなくて、それはやっぱり付近の、たとえば市役所とか文化会館のあたりとか、尾崎小学校の南側とかというところが今あるわけですので、ちょっと歩いていただいて、ちょっと歩きながら街の中を人でにぎわせてこそ街は活気づいていくのだというような発想で、今までの考え方を少し変えていただかなければならないということでもありますので、そういうことについても少しご理解を頂ければありがたいと思います。

議長

非常に大事でまた少し悩ましい問題でもあると思いますけれども、ただ遠藤委員の言わんとしてるのは、その通常の恒常的な部分での台数とイベントの台数は違っていいと思うんですよ。土曜日、日曜日は結構停められる場所ありますけども、これだけの施設だと趣味のサークルもたくさん利用されるようになって、夕方に総会があるとか、図書館もとなると普段の平日で161台で足りるのかというような問題ですよ。その部分についても研究というか検討を重ねて、両方大きくするというのではなくて、まだ1年半、2年先のことなので、通常でも例えば最低200台とか250台とかよくわかりませんが、それを増やす努力をしたうえで、土曜日、日曜日はできるだけ広く今のような考え方に立ってやるとか、というようなことはたぶん大事な問題として残ってくるのではないかなとは思っています。

企画調整課 大庭課長

今おっしゃるとおりでございまして、しかしこれしか土地が無いので、今おっしゃったような必要性があればそれに対応していくというような考え方をしていくしかないと思います。あと、二枚目の図面の左側にポケットパークと書いてあるところのちょっと上のほうに、四角いところがあると思います。これが国土交通省の鳥海ダム調査事務所であります。確かにパッと見れば、この部分も活用できればいいと思うんですが、ただこの場所はこの施設を造る前に市の土地だったんですが、それを今貸している状況です。しかし、それを返してくださいというわけにはいかない状況になっております。反対にこのダムの調査事務所のほうからは、今のポケットパークと臨時駐車場と書いてある所に12、3台ぐらいの土地も貸していたんですよ。ところがそれを戻してもらったものですから、ダムのほうからは我々のお客さん用の駐車場がないからなんとかしてくれというような話がありまして、そこはまず作ってみてから、ずっと161台使っているわけではないと思うので、あまりお互いにそう堅いことを言わないでうまくやりましょうよというふうに、今のところお話ししているんですけども、その話は別にしまして、いずれその駐車場については、今後まず走りながら考えていかなければならないと思ってますので、そういうご理解をよろしくお願いいたします。

議長

せっかくなので私からもちょっとだけ意見を述べさせていただきたいと思えます。私も6、7年前に、この会場の中にも何人かいるんですけども、この計画を作ることだけで3年間ぐらい、足かけ3年ぐらい検討会議を開いて、この原案みたいなものを作るのに関わっていききました。当初は図書館があるのになぜまた図書館を作るのかとか、あるいはまた文化会館もあるのになぜ、我々が言っていたのは専門ホールの音楽とか芸術、文化の500～600人ぐらいの中ホールが

ほしいって言ったんですけれども、それから県立大学ができて、そういう大学のサテライトキャンパスとか、市民活動とか趣味の活動とか皆が集まれるような、もっと公民館はあるけれども、もっと広い場所とか、そういうものを一つの施設にまとめて、冬の期間でもシンボルになるような建物にしたいというのが当初の発想だったんですね。でもそれはとてもそんな大きなものはできないし、すでにあるものがあるのにそれをどうやって作っていくんだっという6、7年前はそういう話もありましたが、この本荘の街中を活性化するためにはそういう人が集い、集まるような場所がぜひとも必要だろうということで、そんな原案を作りました。以前はいびつな形で、真ん中にドームがあったので、そういう建物は現実的にはできないという議論もあったんですけれども、それはやりようによって真ん中のドームをつぶしてでもできるだろうということで最終的にはそういう設計図案になっていったというふうに思います。図書館にしても、勉強する為の図書館というよりは、むしろくつろぐ場所、あるいは言い方はよくないですけど、ちょっと天気の良い日にはうたた寝をするような場所とか、家族で行けるような図書館とかというようなことをイメージしたりして、最終的にはこういう設計図になりましたので、当初は本荘市だけで計画してましたが、途中から合併になりましたので、本荘市だけの建物ではなくて由利本荘市全体の象徴というかシンボルになるようなものにしようというふうに当初から思っていましたけれども、設計屋さんが公募型、プロポーザルで、かなり独創的な、全国にあっても独創的な新居千秋さんという人が選ばれて、我々が目指して100パーセント以上の120パーセントくらいの機能が私はこの中に盛り込まれているというふうに思っています。ただ建物はできたけれどもそれがうまく利活用できないと本当に残念なことになってしまいます。これだけの巨費を投じて今作ろうとしてる物なので、そういう意味でいくと、23年10月頃の開始というと、あともう約一年半後ぐらいなので、一年半というのはあっという間に来てしまうので、一年半後来てからどういう運用をするとかいうのではとても議論は遅いので、その運用の仕方、利活用の仕方、あるいは市民へのPRの仕方、あるいはもっといえば今文化複合施設ですけども、やっぱり市民が愛着が湧くようなネーミングをどうやって今から、計画をして作っていくかとかという部分にもう入っていかなければならないというふうに思います。そういう委員会もできて、その委員にはなっているんですけれども。先ほど言っていた模型ですか。模型は工事事務所のなかにあるんですか。

主要事業説明者（都市計画課 佐々木主席参事兼課長補佐）

現在組合病院跡地の方に建設会社さんの打ち合わせ用に作りました。現場事務所の方に今現在あります。ただ本来の目的は新居先生の特種なデザインなものですからそれを建設サイドに伝えるために作った模型なんでありまして大変素晴らしいものですので我々の方もそれを利用させていただきたいということで、新居事務所さん、建設会社さんの方にご了解をいただきながら、一般市民への公開の日時とか、常に公開という形ではちょっと無理かと思しますので、それも含めて今検討しているところです。

議長

小さな模型見た事ありますけれども、それではないんですね。

主要事業説明者（都市計画課 佐々木主席参事兼課長補佐）

このテーブルの十枚の上に乗らないような形のものです、50分の1の模型です。

議長

当初立ち上げる時には非公式であった模型がありましたね。あれは市役所のほうにありますか。

主要事業説明者（都市計画課 佐々木主席参事兼課長補佐）

その模型は我々の方で依頼したものですので、市役所の方にあります。現場事務所にあるものは、50分の1ということで、本当に一辺が2.5メートルから3メートルぐらいの大きいものであります。

議長

技術的な意味合いあって作ったのであれば難しいかもしれないんですけども、そこはなかなか一般市民が入れるような場所ではないので、特別な工事関係者じゃないと入れないのと思って質問したんですけれども、そういう部分の工夫がこれからますます必要だなというふうに思います。そういう利活用が本当にできれば、10万人ぐらいの市のレベルでは、本当に全国でも今までにないような文化教育とか芸術の施設になると思うんですよ。その利活用が良ければ、鷹巣で見学者が増えたように、たとえば由利本荘市でそういう文化教育という部分での見学者が増えたり、そういう意味での地域振興にはつながると思うので、非常に大事なことだというふうに思っております。

L 委員

親子三代が集える場所がこの由利本荘市にできた。非常にうれしいことです。他にはない素晴らしいものだと思います。さっき駐車場が狭いというような話がありましたけれども、私としては逆にそのほうがかえっていいのではないかと。というのは、私などは、あっちこっちに行っても大きい車でドンと入ってそして帰りいろんなイベントが終わるとどんと帰る。これは活性化にはつながらないんじゃないかと。それで幸い市の計画の中に陸橋ができて東側の道路を結ぶという案があるようですし、あそこらへんに将来駐車場なんかも確保してあそこから駅の方向ずっと通って駅前をずうっと歩いてくるとか、というようなことになればもっと活性化にもつながるんでないかなというようなことを非常にこう信じております。

企画調整課 大庭課長

今東海林委員がおっしゃったように、駅を中心に上から見ますと、確かに東側からまっすぐ駅を線路を横断して駅前のほうを横断してその文化施設に行くと最短距離で非常に使い勝手がいいんですよ。確かに普通の人はその思います。我々も今の列車を東口を作ればそのところを通路にしていわゆる横断、跨線橋にして渡って複合施設に入れるとか、複合施設で遊んで東側のほうに行けるとかそういうことができるなと思ったんです。ところがですねご存知のように東側のほうってというのはすごい密集していて、広場を確保するというのは今の現状ではすぐは無理なんです。非常に厳しい状況です。とりあえず今言ったように東と西の入口二つできるような形にできないものかというようなことは考えました。考えましたけれども、それさえも結構 JR に関わるそういう上を越すものについては設計が厳しいと思うし、JR 側の対応が全部自治体任せになるらしい、できればいいなとは思いつつも、それがどのぐらいの事業費になるかが分からない、どういうふうになればいいのかが分からないだとちょっと話のしようがないのではないかとということになりまして、来年度にコンサルタントさんにどういうふうなものがつくれば安くできますかというようなことをバリアフリー化と含めて状況を見てもらおうかと思っております。見てもらってそれがすぐ事業にできるかどうかは別にしましても現状をちょっと検討してもらわないといけないなというような状

況ではありますので、今おっしゃいました東海林委員のご意見は十分市のほうでも一応頭の中にはありますけども実現できるかどうかは別の話という風にご理解いただきたいと思います。

M委員

私はコンビニをやっているもので、テナントの件で、人伝えていろんなことが伝わってくるんですけども、今回の施設の周りにコンビニができた場合はその施設の中にはコンビニは作らないよってというような話も聞こえてきたんですね。そういうことってあるんでしょうか。

主要事業説明者（都市計画課 佐々木主席参事兼課長補佐）

あの逆に私の方が情報がいないのかもしれませんが、実際我々の方ではこの施設には、職員の中でですけども、そこにはコンビニを想定しているということで検討してますし、あの逆にもしこの近隣の部分にですねあのコンビニさんの計画等があるっていうことであれば我々も最近ちょっと情報収集しなければいけないのかなと思っています。基本的な基本設計の物としてはコンビニということで、23年度の開館に向けたどういうコンビニに入っていたかどうかを今年中にはもう決めてかからないといけないと思いますので、そういう準備はしてもらいますけども、我々のほうでもこの近隣にコンビニさんができるという情報がちょっとありませんでしたので、もしありましたら教えていただきたいと思います。

議長

運営形態もまだはっきりしていないので、主体がどうなるのか、作っているのは新築で作ってますけども、その運営主体はどうなるのかというのは、これからの検討なので、そういう部分は出てくると思いますよね。

M委員

今主体がはっきりしないっていうお話にありましたけれども、非常に魅力のあるものが沢山あって、これの利用用法とかですね、それから利用の仕方という条文とかってなると思うんですけども、そういうものの検討の時期に入っているんでしょうか、それともこれからいつ頃からそういうようになっていくんでしょうか。あっという間に時間というものは経ってしまいますしね、それにその前からそれは検討されていると思うんですけどいつ頃から入られるんでしょうか。

主要事業説明者（都市計画課 佐々木主席参事兼課長補佐）

建物の説明ということで私が都市計画課のほうから来ていますけれども、現在その協議会の方は生涯学習推進課の中に、この文化複合施設を管理運営するための室というのが今立ちあがっております。そちらの方でその利用料金やその運営方法等今検討しております、まだ結論は出ていませんけども、皆さんの意見を聞きながらということで立ち上がっております。ただ結論はまだまだまったく至っていませんので22年度に引き続き、また検討の機会を設けながら皆さんの意見を聞きながら決めていくべきと考えております。

議長

私もその委員の一人なんですけど、21年度にやったんですが一回しかやってないんじゃないですか。一回しか開いてなくてちょっと今正直に言って遅いなっていう感じはします。もう22年になりましたから。

N 委員

あの小さな土地って言えば失礼ですけども、ほんとにこれほどの用途の多い建物が、こんなにコンパクトなんだけれども多機能なものはいつているというのはとっても楽しみであるので、ぜひ皆さんには、市民の方々には心配している方もたくさんおりますので、ぜひ委員の人たちが、とてもすてきな施設ができるということを口コミしていただければいいなと思っております。

O 委員

今日何回も話に出ているかもしれませんが、まず建物は金をかければどういう建物でも建つわけなんですけども、これをどう利用してもらうということで、これはちょっとの間はバーっとこう使うかもしれないけども、あとは長続きしないということになりますと、これは大変な損失になるわけです。様々な商業がありますけれども、本荘には全然来ないんです。これは、そういうものがないからだと言えそうですけれども、果たしてそうだろうか。だからそういう物を使う場合さっき遠藤委員もお話したように、考え方から行くと周りには駐車場は少なくても、歩いてもらってこちら辺の商業を活発化していただくというのが目的だとは言いますけれども、はたしてそれはそれで、外から来た人はやっぱりバーンとその場所に来てそこを利用しなければ、毎年やられる種苗交換会の様に歩かなければいけないというのは案外人が集まらないですよね。だからそういうふうなところがありまして、それでいいものなのかなと。これは考え方の通り行ってくればありがたいわけですけども、なかなかこれは外から来るには大変だと思いますな。まずこちら辺の人方だけ利用するのであればいいですけども、今度国道 7 号線から入って来るということになりますと、もう石脇あたりの事になりますと、ねずみ小路みたいな所を通って来なければならない。だからこういう立派なものを作るのはいいけれども、まず先にそのアクセスの道路っていうものをばっちり作ってそれからこういうものをやるっていうんであれば私はいいと思います。ただこう立派なものこうバーっと建てて華やかにして、そして一年かそこらになったらあと空になったというようなことになったら大変である。果たしてどういうもんでしょうか。まずやっていることに水を差すようで申し訳ないと思いますが、私はこう思います。

議長

本当に大事な意見だと思います。ありがとうございます。

P 委員

私の場合はアクセス道路をもう少し整備してもらいたいなと思っております。

Q 委員

私はあの先ほど出ましたけれども、駐車場の問題についてはみんなでこれからも検討していただければならない大事な問題だろうなと思っております。やっぱり駐車場のあるところにはすぐ行けるんだというようなことが一番いい条件ではないだろうかなと思います。あと街の中のこれからのにぎやかさとか、そういうふうな発展につなげるためには、やっぱりここに立派な駐車場があって、そこに車を置けるよと、そしてこちらの方に来てそれが終わったら安心して車を置いて街の方に出かけることができるよと、いうようなことが一番ベターではないかなと思っておりますので、やはりこの駐車場の問題については、これから十分に検討していただきたいなと思っております。

R 委員

先ほどお話しがありましたように、この建物の目的がはっきりとしているということは大体いいんではないかなと思います。街の一番の中心部分に、限られた面積の中になんかの高度な機能を持った施設を作るということで、大変にこれは素晴らしいことでもありますけれども、この後いろいろと市民の皆さんに紹介していく際には、まず最初にやはりなぜここにこういうふうな機能を持った建物を建てるのかという最初の目的ですね、これを抜いて紹介しますというんな注文ばかりが要求されてくるのではないかなと思います。それから駐車場の件も含みますが、限られたスペースの中での、予算の中で行ってもらうと、私は最高のものになっていくんじゃないかなという感じはします。まあ私どもの説明の仕方といいますか、PRの仕方などもたぶん入っていかないといけないなというふうに思います。

S 委員

最後ということで、地域で活動するというようなことで、今回に予算をそれぞれに配分して、それぞれで活躍していただくという、このやり方は大変良かったなと思います。これはなぜかという、この後ですね、やはり何か事業を興そうといった時に、やはりグループなり地域なり何かしたいなと思って先立つものがいつも考えられるんですね。それをこう考えた時に、お金がないからやめてしまうというのが今までであったんですね。その時点で今はいくら付くか分からないけれども、とりあえずその声は出せるというそういう場面が、今回あったんじゃないかなというふうに思います。他の地区のお話もちょうと聞こえてきますけれども、ここでは話は出ませんでした。よその方では、例えばひな祭りを自分の地域もやりたかったけれども予算がないので、それで今回はこの予算のほうでつけてもらってそのあとやる地域も出たそうです。やっぱりそれがなにかという活動を起こすということが大切で、なんか活動を起こすためには何らかの裏付けがないと活動を起こせないわけです。声を出しても「じゃあお金どうすんのよ」ということで辞めてしまう。今回はそういう意味では大変良かったと思いますし、将来に向けても期待できるかなと思います。今の組合病院の跡地の話ですが、やはり道路がなくて困るというのは間違いなくそうなのですが、しかしそれでは建物がなくてもいいのかというと、やはり建物ないよりはあったほうがいいわけですから、先ほどからお話するように道路とか駐車場とかなんとかってというのは知恵を出して何とかしなければいけないだろうと思います。だから私ずっとお話聞いていましてとても感じることはあります。たとえばここへ県立大学呼んだときのあの時の熱気を考えた時に、何で大学生っていうものを市民にとけ込ませるっていうか市に協力してもらう、大学生に活躍してもらう場があるのではないかな、今度この建物ができればそんなことがあるのではないかなというふうに思いますね。やはり大学生っていうのは4年でいなくなりますので常に新しい感覚を持って来てくれるということもあるし、我々みたいにずっとここに住んでいて同じ考え方は、5年前も10年前も同じだという我々の感覚とは違うんだって思いますね。ですからやはりそういう発想のその若い発想とそれからいわゆる他地区の人達の目から本荘地域を見てもらうことというのは大切だと思います。それを大学生に何かにつけて大学生に取り組んで活躍してもらう場を持ってもらってですね、大いに大学生に何とかこの本荘地域を活性化してもらうそういう力になってもらえるように、呼び込んでみたらいいのかなというふうに思います。由利本荘市民も大いに大学生にはいろいろと活躍してもらえるっていうことを期待している気がします。皆さんも昨日ご覧になったかと思いますが、クローズアップ現代で街の中が、ようするに駅前に住んでる人が物を買に行くのにその買いに行けないという。日中に人がいなくなってしまう。それで結局そのために何をしたかということ、イギリスの例があったそうですけれども、大学生用に

宿舎を街の中に作って、街の中に大学生に住んでもらった。そうするとその大学生が街の中で買い物をするからその恩恵にあずかってお年寄りも歩いて買い物に行ける。そういう話をNHKでやっておりました。発想としては大きな発想なものですから、でも街が将来空洞化すること考えれば、そういうふうな考を持っていなければいけないのかなというふうに思います。今私のほうが色々と発言していることは、本当に街を良くしようと思って考えているわけですから、こういう前向きな気持ちをもっともっとおし進めて行くと、必ずいい知恵がたくさん出てくると思っている次第であります。私もその一員として参加させていただいて大変嬉しく思っております。よろしくお願いいたします。

(5)その他（事務連絡）

事務からの連絡でございますけれども、今回４回目ということですが、この地域協議会は４回以上の開催となっておりますが、もう１回、第５回目の年度内に開催いたしたいと思ひまして、会長さん方にお伺したところ、３月１５日、月曜日、午後２時から、後日ご案内を正式に差し上げますけれども、開催いたしたいと思ひます。年度末大変お忙しいことと思ひますけれどもよろしくお願いいたします。内容につきましては、平成２２年度の事業主要事業等をご説明できるかと思ひますので、その説明等を協議会で行いたいと思ひますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議長

本日は長時間に渡りご協力いただきありがとうございました。

４．閉会

それでは大変長い間ありがとうございました。第５回目もう一回有ることとでよろしくお願いいたしますして、本日第４回協議会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。